



川口まさや

～県政レポート～ NO.30

URL <http://kawaguchimasaya.com> ●●●●●● 2018年10月

発行 川口まさや TEL0297-83-3617 FAX 0297-83-3641

プロフィール
身長:176cm
体重:68kg
趣味:旅行、読書
血液型:A型
家族構成:母、妻、
子供2人
取手市商工会筆頭理事
龍ヶ崎法人会理事

平成30年度第3回茨城県議会定例会開催

8月31日から9月27日までの27日間開催されました。

補正予算の概要

一般会計補正予算132億8000万円などを可決

今回の補正予算は、県民の安心安全を守るための県有施設におけるブロック塀の安全対策や県立高校へのエアコン設置、地方創生を進める取組み、社会資本整備など早急な取組みが求められる政策課題に速やかに対応するために必要な事業を計上しました。財源は国庫支出金や県債等を活用するとともに、震災復興特別交付税を充当し、そのほか、所要の財源については、繰越金を活用しました。

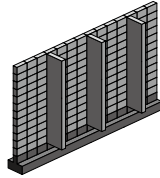
主な事業

1. 県立学校・県有施設・警察施設ブロック塀緊急安全対策事業

大阪府北部地震を踏まえた安全点検により、対策が必要なブロック塀を速やかに撤去・改修を実施します。

対象施設

- 県立学校 (県立高校63箇所、特別支援学校6箇所)
- 県有施設 (児童相談所、保健所、県営住宅等32箇所)
- 警察施設 (警察署、交番、駐在所等45箇所)



2. 高等学校空調設備緊急整備事業

空調設備未整備の県立高校25校の全普通教室(368室)を対象に2019年夏季から稼働します。現在PTA等で空調設置済みの学校は、平成31年度以降に、普通教室分の空調の費用負担を県で引き取り、維持管理費相当額として年額2,400円を保護者負担に設定します。



3. 量子科学による革新的産業創生・専門人材育成事業

本県の強みであるJ-PARC(大強度陽子加速器)等による量子科学研究を基盤とし、県、大学、県内企業等を中心とした産官学の連携により、革新的産業創生と当該産業を担う専門人材の育成を推進します。以下が主な内容です。

1. 革新的産業創生

- 医療用機器産業(先端量子線がん治療装置)
- 自動車関連産業(次世代自動車) 農業(量子線育種・花き等)

2. 専門人材育成

茨城大学・筑波大学における世界トップレベル研究者の招へい企業・研究機関の第一線研究者による実践的講義・実習等の実施

3. 推進会議運営

事業を推進する産官学組織「いばらきイノベーション推進会議」の設置・運営等

4. G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合準備事業

G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合の開催成功に向けて計画的に準備を進め、最先端技術の集積を誇る茨城の姿や、茨城の様々な魅力を世界に発信し、海外からの投資や観光客を呼び込みます。

大臣会合の概要

開催日程:2019年6月8日(土)9日(日)

開 場:つくば国際会議場

参加国・地域:フランス、アメリカ、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、欧州連合(EU)アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、中国、インド、インドネシア、メキシコ、韓国、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ、その他招待国や国際機関が参加、約30カ国・地域(想定)



藤代駅北口新設階段が開通

主な整備内容は以下の通りです。

- 歩道部分には全長100mの屋根が取り付けられ、雨天時にも濡れることなく一般車 乗降場から駅舎まで移動できます。
- お車ご利用者のために、乗降スペースを2箇所(7台分)整備しました。
- 市営自転車駐車場のカラー舗装化やガードパイプの入れ替え等、既存施設の整備を行いました。
- 安全性を考慮し、道路照明を4基に増やし、歩道屋根部分にはLED照明を10基設けました。防犯上の観点から防犯カメラを新たに5台(階段部2台、シェルター部3台)設置しました。



桑原地区に「とりでTWIN-TOWN」

取手市は、桑原周辺の恵まれた立地環境を活かし、桑原周辺の約68ヘクタールを対象に大型商業施設などの誘致を計画し、事業協力者がイオンモール株式会社・イオンタウン株式会社に決定しました。6号国道の北側に専門店街や道の駅機能を有する施設、南側にはショッピングモールや子ども向け職業体験施設などを予定しています。2019年に準備組合を設立、2025年のオープンを目指します。県内外から多くの方に訪れてもらい、茨城県の玄関口・取手市をアピールし、「訪れたい・暮らしたい・巡りたい」まちづくりを推進します。



平成29年度決算の概要

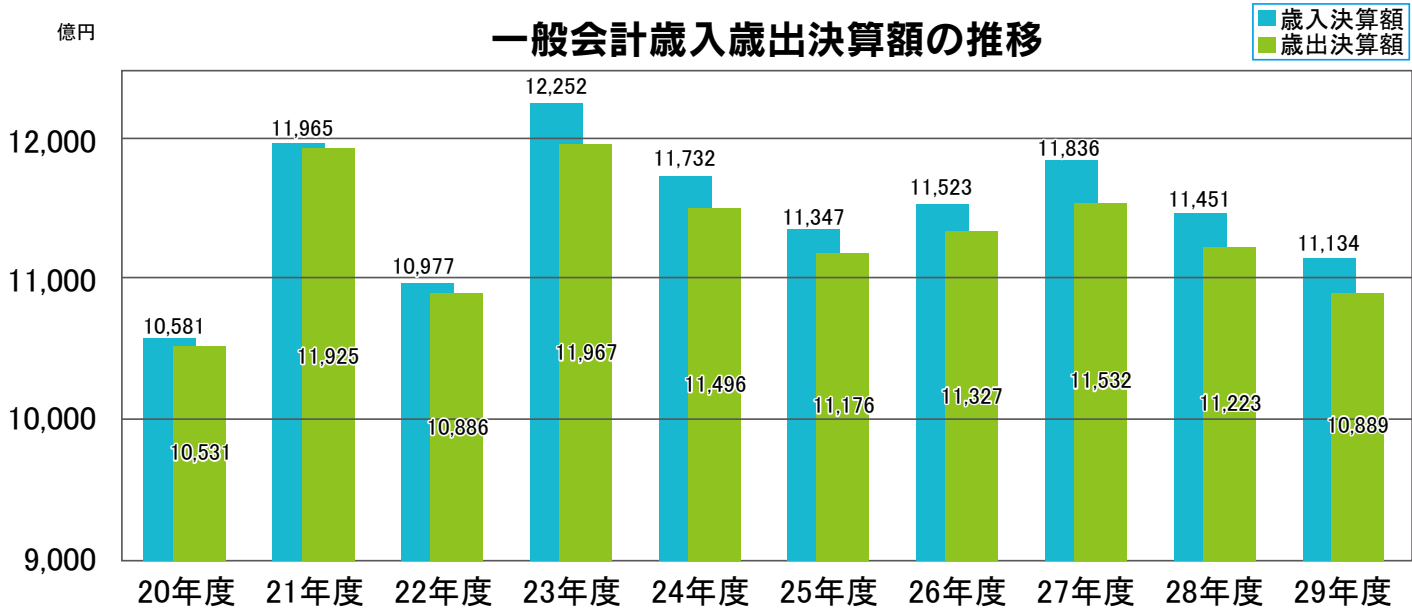
平成29年度は、東日本大震災からの復旧・復興事業や、関東・東北豪雨からの復旧事業に取り組むとともに、少子化対策、将来を担う人材の育成、産業の活性化など本県の重要な課題に対応するための事業に取り組みました。

一般会計

平成29年度決算額は、歳入決算額1兆1,133億7,648万1千円に対し、歳出決算額1兆889億3,148万3千円で、歳入歳出差引額は244億4,463万8千円となりました。この歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源178億9,122万5千円を差し引いた実質収支は65億5,341万3千円の黒字となりました。

歳入決算額は、前年度比316億8,497万5千円（2%）の減少です。

歳出決算額は、前年度比333億9,420万4千円（3%）減少しました。



県債

平成29年度の県債の発行額は、一般会計では1,181億6,598万7千円で、前年度に比べ19億693万3千円（1.6%）減少しました。これは、地方交付税の不足を補填するための臨時財政対策債が40億1,980万円増加したものの、災害復旧債が現年直轄災害復旧債などの減により32億7,630万円、生活環境債が一般単独事業債の減などにより23億2,643万3千円それぞれ減少したことなどによります。

プライマリーバランス

平成29年度一般会計の歳入歳出決算におけるプライマリーバランスは508億円の黒字となり、前年度に比べて49億円増加しました。これは県債の発行額が減少したこと及び歳出が減少したことなどによるものです。

プライマリーバランスの推移

(単位 億円)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
プライマリーバランス	△76	15	412	459	508

プライマリーバランスとは：公債費を除く歳出が、県債等を除いた歳入で賄えているかどうかを示す財政収支こと



いばらき家の家計簿

平成29年度 茨城県 一般会計決算

平成29年度の茨城県の決算を“家計簿”に例えてみました。



支出

生活費 …………… 180万円 人件費, 物件費 (+ 2)	ローン返済 …………… 72万円 公債費(元金64万円, 利子8万円) (-)
医療・介護・教育費など …… 172万円 扶助費, 補助費 (+ 2)	預金(子育て, 健康等) …… 6万円 積立金 (△ 8)
家の修復・防災対策など …… 77万円 投資的経費, 維持修繕費 (△ 7)	合計 …………… 544万円 (△17)
子どもの事業への貸付など …… 37万円 貸付金, 繰出金 (△ 6)	普通預金残高 …………… 33万円 一般財源基金残高 (-)

収入

〔家計簿1万円=県決算20億円〕
〔 () 内はH28との比較 〕

給与等 …………… 482万円 県税, 地方交付税, 国庫支出金, 諸収入など (△10)	合計 …………… 557万円 (△16)
ローン借入 …………… 59万円 県債(資産形成分26万円, 給与立替分33万円) (△ 7)	収入・支出の差引 …… 13万円 翌年度への繰越金 (+ 1)
預金引き出し …………… 5万円 繰入金 (△ 1)	ローン残高 …… 1,070万円 県債残高(資産形成分598万円, 給与立替分472万円) (△ 5)
繰越金 …………… 11万円 前年度からの繰越金 (△ 4)	購入予約済のもの等 …… 228万円 債務負担予定額・公営企業・三セク・退職手当等の将来負担 (△18)